

社会資本総合整備計画 事後評価シート  
中心市街地周辺基盤整備計画

平成28年3月

埼玉県飯能市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県		市町村名	飯能市		地区名	市街化中心地区		面積	1,137ha			
交付期間	平成23年度～平成27年度		事後評価実施時期	平成27年度		交付対象事業費	7,004(百万円) A:6,766(百万円) B:238(百万円)						
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	A基幹事業	都市計画整備事業	事業名 道路(双柳北部地区計画道路、山手町用地内市道整備、(仮)飯能大河原線整備、都市計画道路双柳岩沢線(岩沢北部地区)、岩沢北部地区内区画道路)、公園(笠縫1号公園)、地域生活基盤施設(中心市街地内コミュニティ広場)、高質空間形成施設(中心市街地内(トイレ))、土地区画整理事業(笠縫地区、岩沢北部地区)、地域創造支援事業(新図書館建設事業 山手町地区、総合保育施設整備事業 山手町地区、観光関連施設整備事業 天覧山多峯主山周辺)									
		B関連社会資本整備事業	なし										
		C効果促進事業	なし										
	当初計画から削除した事業	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響							
		A基幹事業	都市計画整備事業	道路(都市計画道路久下六道線、市道1-4号線歩道整備)、地域生活基盤施設(中心市街地内(コミュニティ広場))、高次都市施設(中心市街地内(多機能型観光案内所))		計画の実現性の精査による。		指標1、3に関連する数値目標は据え置く。					
		B関連社会資本整備事業	なし										
新たに追加した事業	A基幹事業	都市計画整備事業	地域生活基盤施設(中心市街地内(ポケットパーク))、天覧山多峯主山周辺サインづくり事業、高質空間形成施設(吾妻峡周辺(トイレ))		森林文化都市のまちづくりの観点で一層の促進を図るため。		指標3に関連する数値目標は据え置く。						
	B関連社会資本整備事業	(仮)飯能大河原線整備事業											
	C効果促進事業	なし											
交付期間の変更	当初	平成23年度～平成27年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-							
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ	
	指標1	市内中心部へのアクセス時間	分	23.3	H22	21.0	H27	モニタリング	評価値	-	-	-	
	指標2	年齢が満5歳未満の住民の数	人	1,986	H21	2,091	H27		1,790	×	あり なし	平成28年5月	
	指標3	歴史的建造物への入館者数	人	47	H21	53	H27		61	○	あり なし	平成28年5月	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値		数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ	
	その他の数値指標1	幹線道路の混雑の緩和	%	54	H21				64		あり なし	-	
4)定性的な効果発現状況													
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況									今後の対応方針等	
	モニタリング	なし	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
	住民参加プロセス	道路整備に伴う住民説明会(H23)	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									● ●	今後も住民の意見を尊重し、円滑な事業の実施を進める。
		公園整備に伴うワークショップの開催(H25)	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									● ●	
持続的なまちづくり体制の構築	地区計画を活用したまちづくりルールの徹底と土地区画整理審議会の継続的活用		都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									●	今後も土地区画整理審議会の活用やまちづくりニュースの発行を通じて、持続的なまちづくり体制を維持していく。

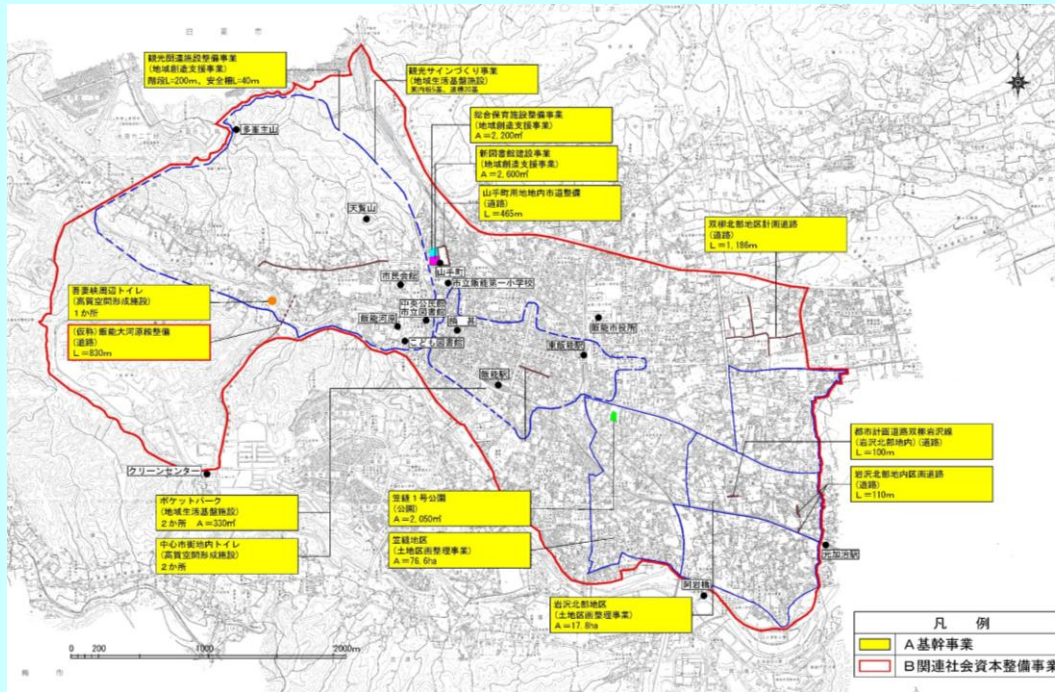
## 様式2-2 地区の概要

### 社会資本総合整備計画「中心市街地周辺基盤整備計画」の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
『人々の営みと賑わい・交流がはぐむ森林文化都市』 目標1：都市基盤の整備により、アクセス性の向上を図るとともに、良好な市街地環境を創出する。 目標2：地域の特性や資源を活かし、文化や産業の振興を図り、市民の活力により明るく元気なまちづくりを促進する。 目標3：市街地としての機能強化と中心市街地の再生を図るとともに、観光の振興などの取り組みを通じて賑わいのあるまちを創出する。	市内中心部へのアクセス時間	単位：分 23.3	H22 21.0	H27 —
	年齢が満5歳未満の住民の数	単位：人 1,986	H21 2,091	H27 1,790
	歴史的建造物への入館者数	単位：人 47	H21 53	H27 61
	幹線道路の混雑の緩和	単位：% 45	H21 —	H27 64



新図書館(外観)



笠縫1号公園



中心市街地内トイレ



笠縫地区道路の整備

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地内にトイレ等が整備され、利便性は増したが、必ずしも賑わいが創出されているとはいえない。</li> <li>道路や土地区画整理事業の進捗により、生活基盤に一定の改善はみられたが、市内の中心部に至る幹線ルートの整備が課題として残った。</li> <li>保育園、図書館の整備等により、子育て環境等は改善したが、子育て世代の増加に至っていない。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策 (改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>第5次飯能市総合振興計画の将来都市像「水と緑の交流拠点 森林文化都市 はんのう」の実現に向け、ハード整備とともにまちづくりのソフト事業を実施し、シンボルトライアングルを核とした都市回廊空間の創出、中心市街地の活性化、各地区の観光スポットへの好循環を図っていく。</li> <li>土地区画整理事業を早期に完成させるとともに、市街地周辺部における拠点の連絡性を高めるため、引き続き幹線道路の整備を行っていく。</li> <li>保育事業の一層の拡充を図るとともに、図書館の情報発信機能を拡充し、女性と子どもにやさしいまち、交流・賑わいによる経済好循環を創造するまちづくりを進めていく。</li> </ul>

# 社会資本総合整備計画 事後評価シート (添付書類)

## (1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

## (2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

## (3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

## (4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

## (5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

## (6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

## (7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 社会資本総合整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●			
B. 目標を定量化する指標		●			
C. 目標値		●			
D. その他( )		●			

添付様式1-② 社会資本総合整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

A 基幹事業:都市再生整備計画事業										単位:百万円
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況		
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み	
道路	双柳北部地区計画道路	1,108	W=5~12m、L=1,186m	1,108	W=5~12m、L=1,186m	なし			●	
道路	都市計画道路久下六道線	1,422	W=16m、L=250m	—	—	計画の実現性を精査し削除。	なし	—	—	
道路	山手町用地地内市道整備	74	W=5~8.5m、L=465m	49	W=5~8.5m、L=465m	整備費の精査による。	なし	●		
道路	市道1-4号線歩道整備	212	W=13m、L=970m	—	—	計画の実現性を精査し削除。	なし			
道路	(仮)飯能大河原線整備	2,502	W=14m、L=430m	1,311	W=14m、L=830m	整備計画の見直しによる。			●	
道路	都市計画道路双柳岩沢線(岩沢北部地内)	400	W=12m、L=100m	412	W=12m、L=100m				●	
道路	岩沢北部地内区画道路	83	W=6~9m、L=110m	245	W=6~9m、L=424m				●	
公園	笠縫1号公園	28	A=2,050㎡	28	A=2,050㎡			●		
古都及び緑地 保全事業										
河川										
下水道										
駐車場有効利用 システム										
地域生活基盤施設	中心市街地内(コミュニティ広場)	666	A=2,700㎡	—	—		なし			
地域生活基盤施設	中心市街地内(ポケットパーク)	—		90	A=330㎡	中心市街地の賑わい創出のため追加。	なし	●		
地域生活基盤施設	天覧山多峯主山周辺観光サインづくり事業	—		6	案内板5基、道標30基	天覧山多峯主山周辺の観光推進のため追加。	なし	●		
高質空間形成施設	中心市街地内(トイレ)	45	3ヶ所	40	2ヶ所	計画内容(事業量)の見直しによる。	なし	●		
高質空間形成施設	吾妻峡周辺(トイレ)	—		24	1ヶ所	吾妻峡周辺の観光推進のため追加。	なし	●		
高次都市施設	中心市街地内(多機能型観光案内所)	110	1ヶ所	—	—	計画の実現性を精査し削除。	なし			
既存建造物 活用事業										
土地区画整理事業 (都市再生)	笠縫地区	1,401	76.6ha	1,427	76.6ha	事業の展開計画により整備箇所の見直し。	なし		●	
土地区画整理事業 (都市再生)	岩沢北部地区	160	17.8ha	294	17.8ha	建物移転費の増額により変更。	なし		●	
市街地再開発事業										
住宅街区整備事業										
バリアフリー環境 整備事業										
優良建築物等 整備事業										
住宅市街地総合 整備事業										
街なみ環境 整備事業										
住宅地区改良事 業等										
都心共同住宅 供給事業										
公営住宅等整備										
都市再生住宅等 整備										
防災街区整備事業										
合計-①		8,211		5,034						

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと





添付様式2-① 社会資本総合整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	単位	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
				基準年度		基準年度		目標年度					あり	なし		
指標1	市内中心部へのアクセス時間	分	阿岩橋から都市計画道路阿須小久保線及び双柳岩沢線を通り、「緑町」交差点を経て、国道299号を西進。「中山(西)」交差点を南下し、市立飯能第一小学校入口に至るルート及び飯能市クリーンセンター入口より北上し、(仮称)飯能大河南線から市道1-4号線を通り、市立飯能第一小学校入口に至るルートについて乗用車にて所要時間を実測。9月の第2金曜日に各ルートについて朝(午前8時計測開始)・昼(午後1時計測開始)・夕(午後6時計測開始)計測し、平均値を求め、その合計値を評価値(見込みの値)とする。	-	-	23.3	H22	21.0	H27	モニタリング			モニタリング		-	-
										事後評価	確定 見込み	-	事後評価	-		
指標2	年齢が5歳未満の住民の数	人	平成27年1月1日時における住民基本台帳及び外国人登録から、区域に係わる町目別データを抽出し、満5歳未満の居住人口として整理する。当市では、毎年1月1日時点の町目別人口を整理しているため、平成27年1月1日のデータを基に、過去5年間の傾向から、評価基準日(平成28年3月31日)の居住人口を推計し、評価値(見込みの値)とする。	-	-	1,986	H21	2,091	H27	モニタリング			モニタリング			●
										事後評価	確定 見込み	●	1,790	事後評価	△	
指標3	歴史的建造物への入館者数	人	従前値と同様に絹基の開館日1日当りの入館者数の平均値を把握する。平成27年度(平成28年3月31日時)については、過去2年度(平成25・26年度)のトレンドから1日当り入館者数を把握し、平成27年度内における数値を整理し、評価値(見込みの値)とする。	-	-	47	H21	53	H27	モニタリング			モニタリング			
										事後評価	確定 見込み	●	61	事後評価	○	

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1		なし
指標2	平成23年及び平成24年の急激な人口減少は、事業の実施により若干の改善がみられたが、減少の傾向は変わらず、目標値は達成できないと判断したため。	なし
指標3	評価時点においては、当指標に関する事業は完成しており、目標値を達成しているため、平成27年度末時においても目標達成と判断した。	なし

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○ : 評価値が目標値を上回った場合

△ : 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

× : 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合



添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標	単位	データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題 等)
				基準 年度		基準 年度					
その他の 数値指標1	幹線道路の混雑の緩和	%	-	-	45	H21	モニタリング			道路を整備することにより、混 雑の緩和となって、効果が発現 するため。	指標1の代替
							事後評価	確定 ●	見込み		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

なし
----

## (2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

### 添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

### 添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
道路整備に伴う住民説明会	予定どおり実施した		
	予定はなかったが実施した	● ・平成23年6月19日、平成24年2月19日(平成24年:2回/日実施) ・(仮)飯能大河原線の整備に伴う説明会(ルート案、今後の進め方等)	
	予定したが実施できなかった (理由)		
公園整備に伴うワークショップの開催	予定どおり実施した	●	
	予定はなかったが実施した	● ・平成25年11月27日～平成26年2月12日、全4回実施 ・ワークショップの意見を参考に笠縫1号公園の整備を実施した。	
	予定したが実施できなかった (理由)		

### 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
地域福祉の仕組みづくりや、活性化の取り組み	予定どおり実施した	●		
	予定はなかったが実施した	●	・平成23年度……準備会の設置 ・平成24年度……会の発足と活動 (まちなか交流事業、空き店舗活用事業等)	飯能まちなかを元気にする会 (まちなか魅力アップ、活性化拠点づくり、市民のくらし、商業活性化の4つのグループで構成)
	予定したが実施できなかった (理由)			
まちづくりに係わるニュースの発行による情報の共有	予定どおり実施した	●		
	予定はなかったが実施した	●	・整備状況や予定について周知し、事業地区内の権利者の情報共有を図り、体制の強化を図った。 ・平成23年度～平成27年度において計21回の発行	土地区画整理事業地区内の権利者
	予定したが実施できなかった (理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
関係各課会議	企画調整課、道路公園課、 観光・エコツーリズム推進課、 産業振興課、土地区画整理事務所、 子育て支援課、保育課、図書館	平成28年1月18日	企画調整課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標3		その他指標1					
指標名		歴史的建造物への入館者数		幹線道路の混雑の緩和					
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
A 基幹事業	道路	双柳北部地区計画道路	—	中心市街地のトイレなどの整備や市内周辺部の観光スポットの環境改善が中心市街地の賑わいづくりに寄与した。	○	道路整備や土地区画整理事業の実施が、幹線道路の混雑緩和に寄与した。			
		山手町用地内市道整備	—		○				
		(仮)飯能大河原線整備	—		○				
		都市計画道路双柳岩沢線(岩沢北部地内)	—		○				
	岩沢北部地内区画道路	—	○						
	公園	笠縫1号公園	—						
	地域生活 基盤施設	中心市街地内(ポケットパーク)	◎						
		天覧山多峯主山周辺観光サインづくり事業	○						
		中心市街地内(トイレ)	◎						
	高質空間 形成施設	吾妻峡周辺(トイレ)	○						
土地区画 整理事業		—		○					
地域創造 支援事業	笠縫地区	—		○					
	岩沢北部地区	—		○					
	新図書館建設事業	—							
B 関連社会資本 整備事業	総合保育施設整備事業	—							
	観光関連施設整備事業	○							
	道路	—		○					
C 効果促進事業	(仮)飯能大河原線整備事業	—							
関連事業	笠縫土地区画整理事業(特会)	—		○					
	双柳南部土地区画整理事業(特会)	—		○					
	岩沢北部土地区画整理事業(特会)	—		○					
	岩沢南部土地区画整理事業(特会)	—		○					
	市道1-4号線歩道整備	—		△					
	(仮)飯能大河原線整備	—		○					

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	<p>今後は、整備された施設の維持管理を図るとともに、イベントの開催など、中心市街地の賑わい創出の場としても活用していく。</p> <p>引き続き、土地区画整理事業や幹線道路の整備を進め、市内中心部へのアクセスを強化していく。</p>
-------	---

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類別		指標1			指標2																	
指標名		市内中心部へのアクセス時間			年齢が5歳未満の住民の数																	
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類									
A 基幹事業	道路	双柳北部地区計画道路	数値の計測に係わる道路整備が予定通り完了しなかったため、評価値の算定ができなかった。内容の類似するその他の指標により効果発現を検証する。	III	-	保育施設の整備や土地区画整理事業の進捗により子育て環境の向上が図られたが、社会経済情勢の変化の中で目標は達成できなかった。	III															
		山手町用地地内市道整備																				
		(仮)飯能大河原線整備			××																	
		都市計画道路双柳岩沢線(岩沢北部地内)			××																	
	岩沢北部地内区画道路																					
	公園	笠縫1号公園																				
	地域生活 基盤施設	中心市街地内(ポケットパーク)												△								
		天覧山多峯主山周辺観光サインづくり事業												△								
	高質空間 形成施設	中心市街地内(トイレ)												-								
		吾妻峡周辺(トイレ)												-								
土地区画 整理事業	笠縫地区	××			△																	
	岩沢北部地区	××			△																	
地域創造 支援事業	新図書館建設事業				-																	
	総合保育施設整備事業				△																	
	観光関連施設整備事業				-																	
B 関連社会資本 整備事業	道路	(仮)飯能大河原線整備事業			-																	
C 効果促進事業																						
関連事業	笠縫土地区画整理事業(特会)					△																
	双柳南部土地区画整理事業(特会)					△																
	岩沢北部土地区画整理事業(特会)					△																
	岩沢南部土地区画整理事業(特会)					△																
	市道1-4号線歩道整備					-																
	(仮)飯能大河原線整備					-																

※目標未達成への影響度

- ××: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×: 事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △: 数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類I: 内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類II: 外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類III: 外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類IV: 内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針	都市計画道路、幹線道路など基盤整備事業を早期に完成させ、スムーズな移動交通の確保を図っていく。	土地区画整理事業を早期に完成させ、子育て環境にふさわしい良好な市街地形成を図るとともに、保育関連事業の一層の充実を図っていく。		
-------	---	---	--	--

#### (4) 今後のまちづくり方策の作成

##### 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
関係各課会議	企画調整課、道路公園課、観光・エコツーリズム推進課、産業振興課、土地区画整理事務所、子育て支援課、保育課、図書館	平成28年1月18日	企画調整課

##### 添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
市の中心部については、賑わいが減少してきており、中心市街地としての再生を促し、魅力を創出することが課題である。	ポケットパークやトイレの施設整備により、中心市街地としての都市空間に一定の改善が図られ、利用者の利便性が向上した。	中心市街地内の施設整備による魅力の創出が必ずしも賑わいを作り出していないことが課題である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの事業の効果をより発現させるため、市内中心部に至る幹線道路や周辺の観光拠点を連絡するルートの整備が不可欠である。</li> <li>・市外、県外からの来訪者に対するサインづくりやPRが課題である。</li> <li>・ソフト事業を活用し、ハード事業の効果を持続的に発現させていくことが課題である。</li> </ul>
中心市街地の西部については、市街地としての機能強化のため、文化、教育、子育ての拠点整備が課題である。	図書館や保育施設の整備等により、教育、文化、子育てに関する都市機能の充実が図られた。	中心市街地に整備された都市基盤を有効に活用するため、市内中心部に至る幹線道路網の早期実現が課題である。	
東部地域については、幹線道路網の整備と良好な住宅地としての整備が課題である。	道路事業や土地区画整理事業の進捗等により、道路網の改善や公園の整備が進み、良好な住宅地が創出されつつある。	人口の減少傾向を抑制するためにも、良好な住宅地整備を進める土地区画整理事業の早期完成及び住宅地と中心市街地をつなぐ幹線道路の整備が課題である。	
地区内の西部地域については、観光に関連する施設整備や、産業誘導のための幹線道路整備等が課題である。	サインづくり事業、トイレ、安全柵などの観光関連施設の整備により、近隣市からの人の流れを呼び込むことができた。	観光関連事業の一層の推進と、産業誘導などにより、市外から人を呼び込むための都市基盤づくりや施設整備が課題である。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	市内観光に係わるソフト事業の取り組みの継続	・住民と一体となったまちづくりを継続する。	・オンリーワンの新たな森林文化の創造 ・観光テーマごとの散策ルートの選定 ・観光客対応のガイドボランティアの養成
	区画整理事業の継続的实施による良好な市街地の確保	・財源の確保に留意しながら事業を継続する。	・都市再生土地区画整理事業 ・相乗効果を狙うハード事業・ソフト事業の複合事業 ・公園緑地等の整備による憩いの場の創出

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策  ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	市内の幹線道路の整備と子育て世代の良好な住宅地の確保	・市内中心部へ至る幹線道路及び周辺部の拠点を結ぶ幹線道路の整備を進める。 ・区画整理事業の早期完成	・道路事業、土地区画整理事業の一層の推進 ・南北幹線道路・阿須小久保線整備事業 ・企業誘致効果の持続：(仮称)飯能大河原線整備事業 ・良好な住環境：土地区画整理事業
	市内への来訪者に向けた取り組み	・これまでの整備効果をより発現させる取り組みが必要	・シンボルトライアングルを核とした都市回廊空間づくり ・観光客増に対応するサインづくりやシティプロモーション ・情報発信基地としての市民会館・図書館・郷土館の活用 ・飯能のブランド化とシビックプライドの醸成
	保育事業や図書館事業の一層の拡充	・子育て環境の一層の拡充 ・図書館の有効的活用	・0歳児保育事業等の子育て支援事業の拡充 ・子育て相談所と文化・教育の連携 ・観光拠点づくり・ネットワーク化と交通手段の確保 ・歩いて・自転車で・車で回遊できるまちづくり

フォローアップ又は次期計画等  
において実施する改善策  
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

<input type="checkbox"/>	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
<input type="checkbox"/>	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

なし
----



添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

- ・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値			1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画				
			年度	年度	年度	年度	評価値	目標達成度	評価値		予定時期	計測方法	その他特記事項		
指標1	市内中心部へのアクセス時間	分	23.3	H22	21.0	H27	確定	-	-	あり					
							見込み			なし					
指標2	年齢が5歳未満の人口の数	人	1,986	H21	2,091	H27	確定	1,790	△	あり	●	平成28年5月	平成28年1月1日の住民基本台帳から集計し、確定値とする。平成28年1月1日の計測時点は、評価基準日に近いことから確定値とする。		
							見込み			なし					
指標3	歴史的建造物への入館者数	人	47	H21	53	H27	確定	61	○	あり	●	平成28年5月	平成27年度末までの数値。平成28年5月に整理できることから、従前値と同様の集計を行い確定値とする。		
							見込み			なし					
指標4							確定			あり					
							見込み			なし					
その他の数値指標1	幹線道路の混雑の緩和	%	54	H21	/		確定	64	/	あり	●				
							見込み			なし					

## 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点		今後は、5年間で効果の発現を計測できる目標を設定していく。
	うまく いかなかった点	「満5歳未満の住民の数」の指標は、社会的な外部要因による影響が大きいと思われる。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点		今後は、事業との因果関係が明らかな指標を設定していく。
	うまく いかなかった点	各事業は成果を上げたが、指標との関連性が明確とはいえなかった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	公園整備や道路整備にあたって、ワークショップや説明会が大きな効果を上げた。	説明会や地元のまちづくり組織との連携を継続して行っていく。
	うまく いかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	事後評価を行うことで、今後のまちづくりの課題が明確になった。	今後は、モニタリングを行うことで、事業の過程にも配慮する。
	うまく いかなかった点	モニタリングを実施できなかった。	
その他	うまくいった点		
	うまく いかなかった点		

### 添付様式6－参考記述 今後、交付金の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

住みよい市街地の基盤形成

・土地区画整理事業の早期完了、幹線道路整備の一層の促進のため、社会資本整備総合交付金の活用を予定している。

## (5) 事後評価原案の公表

### 添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	事後評価原案を飯能市ホームページで公表	平成28年2月1日 ～2月14日	平成28年2月1日 ～2月14日	意見書及びメールにより受付	企画調整課
広報掲載・回覧・個別配布					
説明会・ワークショップ					
その他					

住民の意見	なし				
-------	----	--	--	--	--

## (6) 評価委員会の審議

### 添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	内野陽三、熊田俊郎	平成28年2月23日	企画調整課	飯能市公共事業評価監視委員会条例	飯能市公共事業評価監視委員会
その他の委員	浅見直行、新井健策、宮下眞佐子、柳澤陽子				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・指標1…設定時点で計画期間中に全線開通目途の立っていない幹線道路を効果発現要因事業に位置付けたのは如何なものか。 →一部開通による効果発現が見込めるものと設定したと考えているが、結果として一部開通さえ実施できない見込みとなった。このため、成果評価が測定不能となることから代替指標を設定させていただいた。
	成果の評価	・指標1…評価測定が出来なかったとのことだが、計画期間内の開通・拡幅道路により測定すると時間短縮効果があるのではないかと。 ・指標2…満5歳未満児だけでなく全世代で減少傾向である。数は減っているが、人口構成割合では減っていないのではないかと。 →構成割合でも微減している。外的要因が大きく、ハード整備が人口増加要因にはならないことを今後に生かしていきたい。 ・その他の指標1…逆算して満足度を計算しなくても不満足度の低下が認められることにより評価としてもいいのではないかと。
	実施過程の評価	・中間評価を行うことで指標変更が可能であったのではないかと。
	効果発現要因の整理	・指標1…計画期間中に全線開通目途の立っていない幹線道路を効果発現要因事業に位置付けたのは如何なものか。
	事後評価原案の公表の妥当性	・特になし
	その他	・指標2…現地視察時に総合保育施設(子育て総合センター)が出来たから転入した人がいるとの情報があった。 ・指標3…入館者数は「市内・市外の別」を調査していないとのことだが、調査することにより「観光客の増加度」を測れるのではないかと。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当と思われる。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・平成28年度から第5次飯能市総合振興計画がスタートする。計画区域外のことはあるが、宮沢湖周辺に立地するメツツアは観光スポットとして大変魅力的であり、これらを核としてのまちづくり方策でもいいのではないかと。
	フォローアップ	・今年度が計画最終年度ではあるが、繰越事業もあるならば、来年度以降も計画としてフォローアップしていただきたい。
	その他	・計画終了後の個別事業となる阿須小久保線は、南北幹線道路として大きな期待を寄せている。早期開通を目指していただきたい。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・計画区域内のまちづくり方策は、妥当と思われる。
その他	・審議前に現地視察実施:地域生活基盤施設(中心市街地内・ポケットパーク)、高質空間形成施設(中心市街地内・トイレ)、地域創造支援事業(総合保育施設整備事業、新図書館建設事業)	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

### (7) 有識者からの意見聴取

#### 添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署

有識者の意見	
--------	--